

令和2年度日米共同統合演習（実動訓練）について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり訓練を実施する旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり口頭要請を行っております。

記

1 令和2年度日米共同統合演習（実動訓練）について

(1) 情報提供内容

別紙のとおり

(2) その他

横田基地は、10月29日(木)から同月31日(土)までの間、航空機からの降下訓練(横田基地を離陸し、百里基地にて陸上自衛隊員を搭乗させ王城寺原演習場にて降下)、重物料の投下訓練(横田基地において投下する重物料を搭載し、王城寺原演習場で投下)、補給品の輸送訓練(横田基地にて補給品を搭載し米軍嘉手納基地へ輸送)のために使用を予定している。

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和2年10月2日(金)

(2) 要請先

北関東防衛局長

(3) 要請内容

令和2年度日米共同統合演習（実動演習）の横田基地における訓練の実施に当たり、次の事項について、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう要請します。

- 騒音が大幅に増加することがないよう周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策に努めること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。



<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

2 . 9 . 2 5
統 合 幕 僚 監 部

令和2年度日米共同統合演習（実動演習）
「Keen Sword 21 / 02FTX」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和2年度日米共同統合演習（実動演習）を実施します。
本演習は、強固な日米関係に基づき、日米双方が演習を行う中で、自衛隊と米軍の即応態勢を確認し、相互運用性を向上させるものです。自衛隊と米軍はこのような演習を通じ、地域の平和と安定に積極的に貢献するための態勢と能力を維持・強化していきます。

記

1 演習の目的

武力攻撃事態等における自衛隊の運用要領及び日米共同対処要領を演練し、自衛隊の即応性及び日米の相互運用性の向上を図る。

2 実施時期

令和2年10月26日（月）～11月5日（木）

3 実施場所

- (1) 我が国周辺海空域、自衛隊施設及び在日米軍施設
- (2) 種子島及び臥蛇島
(種子島では自衛隊が訓練を実施し、臥蛇島では自衛隊と米軍が共同訓練を実施)

4 統裁官

- (1) 自衛隊 : 統合幕僚監部運用部長 海将 下 淳市
- (2) 米 軍 : 米太平洋艦隊海上作戦部長 海軍少将 マイケル・ボイル

5 主要訓練項目

- (1) 水陸両用作戦
- (2) 陸上作戦
- (3) 海上作戦
- (4) 航空作戦
- (5) 統合後方補給
- (6) サイバー攻撃等対処
- (7) 統合電子戦
- (8) 宇宙状況監視

6 演習参加部隊等

(1) 自衛隊

ア 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団等

(2) 米 軍

インド太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊、在日米軍等

(3) その他

一部の訓練に加海軍艦艇が参加

7 演習参加規模

(1) 自衛隊：人員約37,000名、艦艇約20隻、航空機約170機

(2) 米 軍：人員約9,000名

(3) 加 軍：艦艇1隻

8 その他

(1) 日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今年度で15回目

(2) 英国、豪州、加国、仏国、印国、比国及び韓国から在京武官のオブザーバーを招へい予定